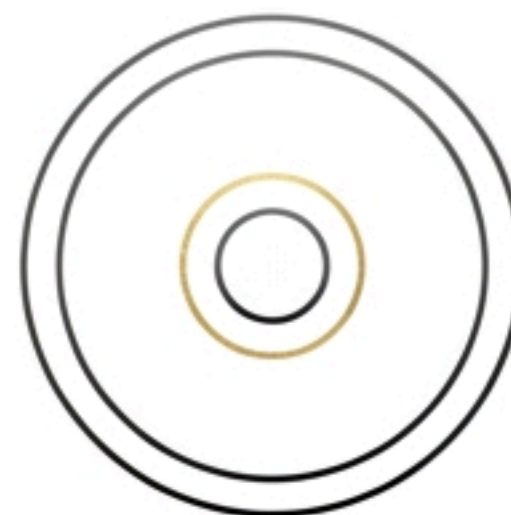




卵が先か、ニワトリが先か。
— 物事の「捉え方」を問う —

時間は、お金か。お金は、時間か。
「どちらが先か」という錯覚。



お金が整ってから時間を整えるのか。時間が整ってからお金を整えるのか。

陰が先か、陽が先か。

どちらが正しいか、ではない。
「どの場面で使うか」がすべて。

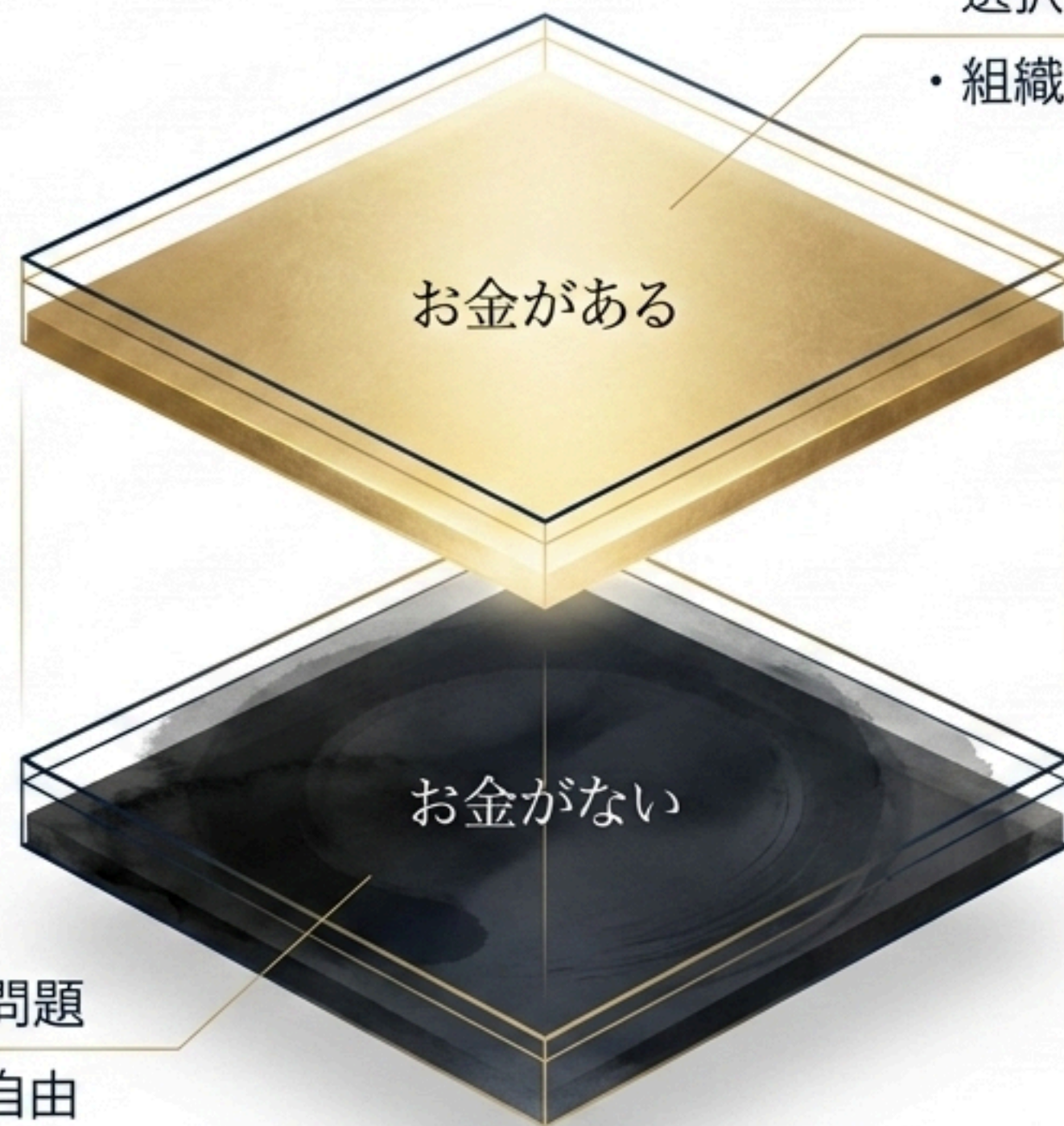


卵とニワトリは、そもそも土俵が違う。 生存の問題と、選択の問題。

同じ線上の悩みではない。

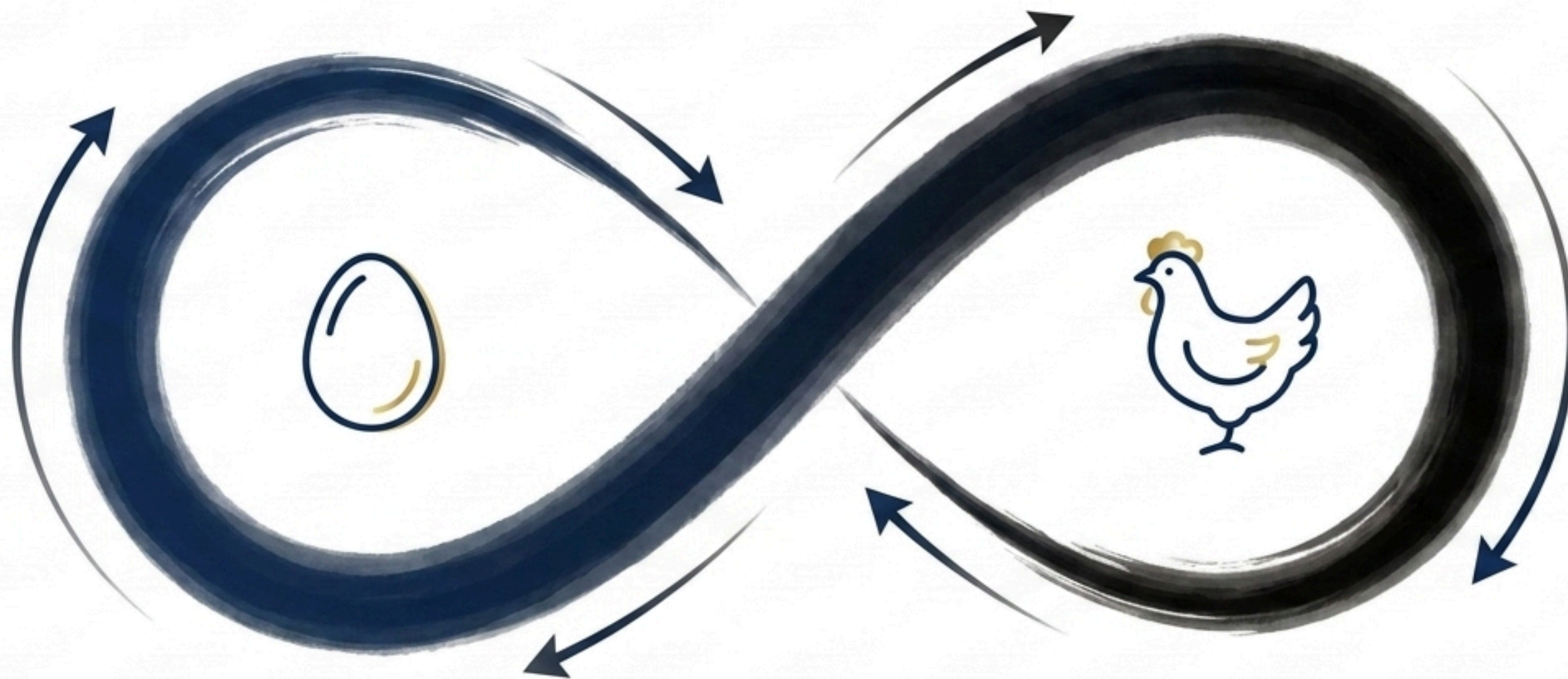
次元が変われば、問われる責任も変わる。

- 生存の問題
- 個人の自由



- 選択の問題
- 組織の責任

対立ではなく、循環である。
終わりが始まりとなり、始まりが終わりとなる。



ニワトリが卵を産み、卵がニワトリになる。
どちらが先かを問うこと自体が、本質を見失わせる。

白か、黒か。分けて考えること自体が、ズレている。

色即是空 空即是色。
現実はもっと循環的で、
もっと曖昧で、もっと連続的である。



TAOISMの答え。 「どちらも同時に育てる」

お金だけを追えば崩れる。
時間だけを整えても続かない。

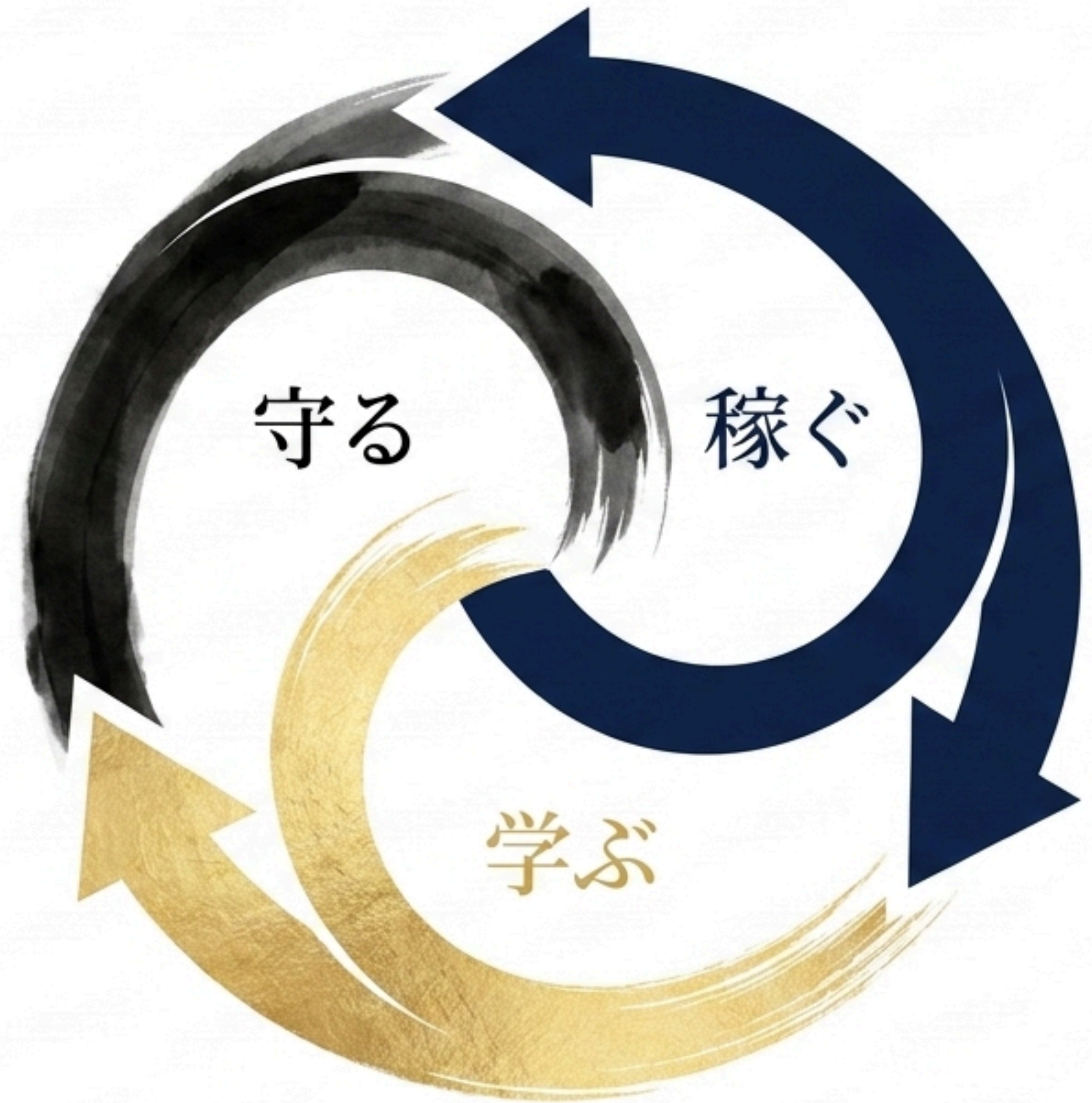


稼ぐ。学ぶ。守る。

また稼ぐ。

順番ではない。

この循環を回し続けることが
重要である。



偏れば、崩れる。

稼ぐだけでは失い、
学ぶだけでは
形にならない。

稼ぐだけの人には守れず失う。

学ぶだけの人には現実に変換できない。

守るだけの人には増えない。



陰と陽のリズムを持つ。攻めと守りは、一体である。

行動・少し稼ぐ



内省・少し守る

少し稼ぐ、少し学ぶ、少し守る。
このリズムを持つ人間は強い。



循環

答えを探すのではなく、流れを作る。
それが、TAOISMの本質。

ニワトリと卵は対立ではない。共存であり、一体である。